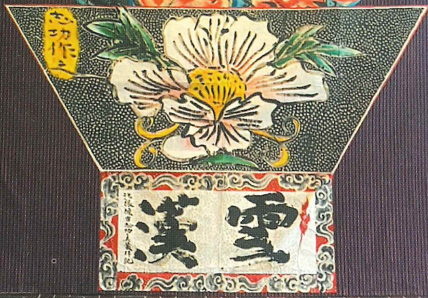
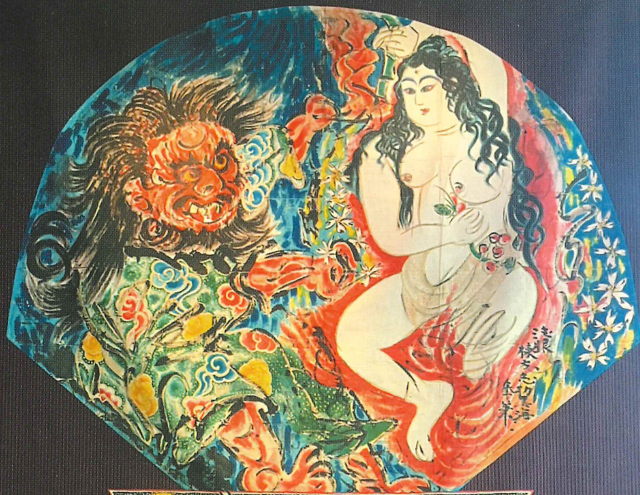


西高

せいほう



Contents

- | | | | |
|------|--------------|----|---------------------|
| P2~3 | 球技大会 | P7 | VIVA青春 |
| P4~5 | 西高祭・にしびよんカフェ | P8 | PTA委員会
県高P連感謝状 他 |
| P6 | 西高運動会 | | |



84号

2023.10.31

表紙：4年ぶりに開催された八戸三社大祭 最優秀賞：内丸親睦会「法霊大明神」(右)
 生誕120年棟方志功 弘前ねぶた 鏡 絵「天の岩戸」(左上)
 見送り絵「天照大神」(左下)

青森県立八戸西高等学校
 PTA広報委員会

TEL：0178-27-5365

H P：http://www.hachinohenishi-h.asn.ed.jp/

印刷所：株式会社オダプリント





球技大会

7/6~7



結果一覧

男子バスケットボール

- 第1位 3年6組
- 第2位 3年2組
- 第3位 1年6組、2年5組

女子バスケットボール

- 第1位 1年2組
- 第2位 3年2組
- 第3位 3年3組、3年4組

男子バレーボール

- 第1位 3年6組
- 第2位 3年4組
- 第3位 3年1組、3年2組

女子バレーボール

- 第1位 3年3組
- 第2位 3年5組
- 第3位 2年4組、3年1組

男子ミニサッカー

- 第1位 2年6組
- 第2位 3年2組
- 第3位 3年4組、3年6組

女子ミニサッカー

- 第1位 3年6組
- 第2位 2年5組
- 第3位 1年4組、1年6組

男子ミニサッカー 優勝チーム

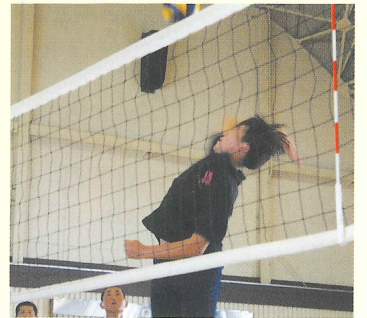
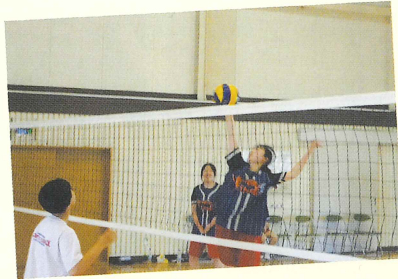
来年に向けて

二年六組 山田 琉生
 私たち二年六組は球技大会に向けてチームで切磋琢磨してきました。一番印象に残っているのは三年一組との試合で、逆転勝ちをしたことです。そこで自信を深めました。来年もしっかりと練習して優勝できるように頑張ります。



優勝
 一年二組 平松 花帆
 初めての球技大会で優勝できてとても嬉しかったです。クラスの友達だけでなくたくさんの人が応援してくれたこと、クラスのみんなが一丸となって取り組めたことが心に残っています。五人が揃ったのはたまたまではなく運命だと思います。

**女子バスケットボール
優勝チーム**



最高の仲間との思い出
 三年六組 斗米 勇大
 全試合が接戦となり、勝つ度に喜びが増す一方、相手の声援にも力が入り、決勝では恐怖すら感じた。しかし、この負けられない緊張感の中で仲間と戦えた経験はとても楽しかった。そして、最後の一点を自分が決められたことは最高の思い出となった。

**男子バレーボール
優勝チーム**



西高祭

7/15~16



西高祭を終えて

生徒会長 石田 叶大



生徒会長として西高祭を運営する責任はとて大きかったです。ですが、私にとって素晴らしい経験になりました。特に嬉しかったのは、生徒たちがアイ

デアを出し合い、協力して西高祭を盛り上げていったことです。皆さんの協力と努力のおかげで、素晴らしい西高祭が実現できました。生徒会長としてのこの経験は、リーダーシップとチームワークの重要性を学び、成長する機会になりました。



にしびよんカフェ



1学年メニュー



2学年メニュー



3学年メニュー

西高祭を終えて
西高祭実行委員長 戸館 一美

西高祭が4年ぶりに制限のない形で開催されることになり、PTAによるにしびよんカフェも制限なく実施されることになりました。

うれしい反面、ほぼゼロからのスタートで不安もありましたが、保護者の皆さんで力を合わせて取り組むことができました。

当日は大盛況で、西高祭を楽しむ来場者や生徒たちと近い距離で触れ合うことができたことは、保護者としても嬉しいことでした。本当に最高の思い出がありがとう！来年以降もぜひ実施してもらいたいと思います。

最後に、お手伝いしてくださった保護者の皆さん、皆さんのおかげで無事に終えることができました、本当に疲れさまでした、ありがとうございます！



西高運動会

7/18



部活動紹介

VIVA青春

陸上競技部

走高跳全国大会出場

高校生活で最高の経験

～敗北を経て～

三年二組 葛西 璃空



跳べるはずの高さが跳べ

東北大会が終わりにあつという間にインターハイが始まった。会場は、これまで経験したことがないほど多くの観客で盛り上がっており、この中で競技ができると思うと非常にワクワクした。調子も良く、自信に満ち溢れながら本番を迎えた。しかし、自分の跳躍の番になり、まるで別人になったかのように、



なくなくなった。3回の試技を全て失敗で終わり、予選敗退という結果でインターハイが終わった。可能性のあつた全国入賞の機会を失い、自分の不甲斐なさを感じた。そんな私を、わざわざ応援に来てくれた仲間が励ましてくれた。私は、本当に仲間にも恵まれているのだと改めて感じた。幸い、この先「国体」「U18」と全国大会があるので、今まで支えてくれたチームメイトの分まで全力で競技し、自分らしく試合を楽しみ、次こそは全国入賞したい。

テニス部

ダブルス全国大会出場

全国大会を終えて

二年五組 佐々木美悠



八月の始め、北海道で行われたインターハイに出場しました。私はダブルスで出場し、一回戦目は茨城県牛久高校と対戦しました。ラリーがお互いなかなか入らず、相手に次々と点を取られてしまいました。デュースのゲームはたくさんあつたものの、粘り強さが足りず、チャンスを生かせませんでした。今回の試合を通して様々な事を学びました。練習の時もこの悔しさを忘れず、試合でできなかったことを克服し、来年も出場します。

個人全国大会出場

インターハイを終えて

二年六組 夏坂海夕愛



私はずっと目標にしていたインターハイに出場することができ、コーチと一緒に練習してきた友人にとっても感謝しています。インターハイを通して学んだことは一ポイントを大切にすることです。今までの私は簡単に相手にポイントを与えてしまっていました。しかし、全国大会では、たった一ポイントで流れが変わったり、このポイントを取らないといけないという大事なポイントがたくさんありました。インターハイを通して学んだことをこれからの試合で生かしていきたいです。

柔道部

個人インターハイ出場

楽しんで、感謝して！

三年六組 金屋 耀

今回の北海道I日は高校三年間の集大成の大会でした。これまでお世話になった家族や先生方に恩返しするために、自分の持つ全ての力を出し切ろうと挑んだつもりでした。ですが、全国大会の厳しさを思い知らされ、何もできずに終わってしまいました。このI日にくるまでには、計り知れないほどのサポートがありました。その中でも特に釜石先生には感謝して

英会話部

三年一組 北城 和美

英会話部では、『楽しく英語を学ぶ』ことを目標に日々活動しています。英会話部の特徴は、活動内容の自由度の高さです。毎年どのような活動をするのか話し合います。今年、行った活動は、洋映画の鑑賞、英語でポスター作り、季節ごとのイベント（ハロウィンやクリスマス）パーティ、ALTの先生と英単語の正しい発音方法の



勉強や、英語でのひっかけクイズをやりました。スピーチコンテストに挑戦した人もいます。来年も様々な活動に挑戦して欲しいです。



います。たくさん反抗しましたが、それでも信じて愛と情熱で指導してくださりありがとうございます。いつか釜石先生を越す指導者になって恩返ししてみせます。

第72回東北地区高等学校PTA連合会福島大会
福島大会を終えて

PTA会長 河村 泰輔

7/6~7

全国大会は福島で開催され、福島県立橋高等学校巻藁射礼から始まりました。作法一つ一つ凛と張り詰めた空気の中、米俵へ矢を実際に放つ緊張感について引き込まれてしまった素晴らしいオープニングでした。

研究競技では、「子どもたちへのエール、私たちにできることは」と題し、東北6県の代表が登壇し、コロナ禍の中での活動内容を様々な角度から報告されておりました。昼食を挟み、福島県立原町高等学校箏曲部による箏の演奏、福島県立福島高等学校ジャズ研究部による演奏で華やかに午



前PTA会長 廣田恭慈(左)
PTA会長 河村泰輔(右)

第72回全国高等学校PTA連合会宮城大会
全国高P連宮城大会を終えて

進路対策委員長 松倉 寛幸

8/24 ~ 25

特に印象深いのは、仙台育英学園高校硬式野球部監督の須江航氏の記念講演です。前々日に甲子園で準優勝を飾り、前日に仙台に戻ってきたばかりの須江監督は、割れんばかりの拍手で会場に迎えられました。

須江監督の演題は、「伝わる言葉」失敗から学ぶ。甲子園でのインタビューにおいて「人生は敗者復活戦」との発言をしていた監督らしく、「成功者に学ぶのではなく、他者や自身の失敗から、

その立ち直り方をいかに学ぶかが問われている」とのことでした。そして、「失敗から学び、成功への準備ができたなら最後に必要なのは、気合と根性とガッツ」。人生のほとんどをスポーツに捧げている須江監督ならではの素敵な言葉でした。



青森県高等学校PTA連合会五所川原大会
県高P連五所川原大会に参加して

2学年委員長 牧野 明代

6/9

6月9日「つなぐ、つながる、つなげる」のテーマのもと、四年ぶりに開催された県大会に参加させていただきました。コロナ禍でPTA活動も制限され、更に少子化という状況でも、代表者の方々の発表で、精一杯活動されていたのだと思いました。

また、西北地区吹奏楽部、五所川原第一高校津軽三味線部の素晴らしい演奏、元力士・舞の海秀平

さんの講演も「絶対諦めなかったから今がある」と全てに共通すると感じました。開催地のPTA関係者の皆さん、そして本大会に参加させていただき、本当にありがとうございました。



「後援会・同窓会
父母と教師の会」
三団体合同懇親会

日時…6月21日
場所…八戸プラザホテル

4年ぶりに、三団体合同懇親会が盛大に開催されました。

後援会からは21名、PTAは河村会長ほか総務委員の方が9名、そして同窓会からは11名、学校関係者を含めて46名の出席でした。

県高P連表彰
感謝状・山澤 知里様



県高P連表彰
PTA新聞 奨励賞



昨年まで(R4)PTA副会長として3年間、その任期中に広報委員長・研修委員長を兼務して頂いた功績が認められ、青森県高等学校PTA連合会より感謝状が授与されました。

本校のPTA新聞(広報誌)が、「奨励賞」を初受賞致しました。広報委員長の工藤様が欠席のため、3学年委員長戸館一美様が代理で、坪宏至校長から賞状を受け取りました。